



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月6日  
上場取引所 東

上場会社名 三信電気株式会社  
コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 俊郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経本部長 (氏名) 御園 明雄 TEL 03-3453-5111  
四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	40,665	12.6	354	△1.8	304	△9.2	169	△17.3
26年3月期第1四半期	36,124	34.9	361	351.0	335	124.0	205	ー

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △210百万円 (ー%) 26年3月期第1四半期 797百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	6.02	ー
26年3月期第1四半期	7.14	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	91,688	61,696	67.3
26年3月期	93,522	62,255	66.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 61,696百万円 26年3月期 62,255百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	10.00	ー	10.00	20.00
27年3月期	ー				
27年3月期(予想)		10.00	ー	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,000	△5.6	850	△28.1	800	△34.4	500	△35.6	17.74
通期	195,000	1.4	2,550	1.3	2,450	△7.8	1,650	△8.7	58.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	29,281,373株	26年3月期	29,281,373株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	1,102,001株	26年3月期	1,101,952株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	28,179,384株	26年3月期1Q	28,753,413株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気は回復を続け、欧州においても景気の持ち直しの動きが見られたほか、中国の景気減速にも一定の歯止めが見られるなど総じて堅調に推移しました。また、我が国経済は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により一部に弱い動きが見られたものの、景気は緩やかな回復が続きました。

エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンや車載/産業用途の力強い需要に支えられ、半導体や電子部品市場が好調に推移しました。一方国内IT業界におきましては、大企業における海外展開を背景に国内でのIT投資が絞られてきたこと、また前期に活発化したPC等の更新需要の反動により、ハードウェア市場が低下するなど、厳しい状況となりました。

このようななか当社グループは、事業力の強化と経営基盤の整備に取り組み、売上高の増加並びに収益力の向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は406億65百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は3億54百万円（前年同期比1.8%減）、経常利益は3億4百万円（前年同期比9.2%減）、四半期純利益は1億69百万円（前年同期比17.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やASIC設計等の技術サポートを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、家庭用ゲーム機器向けの販売が減少したものの、社会インフラ向けが増加し、またモバイル機器や車載関連向けも堅調に推移した結果、売上高が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、連結デバイス事業の売上高は384億94百万円（前年同期比13.2%増）となりました。また、セグメント損益は売上高増加に伴う販管費の増加などにより、2億63百万円（前年同期比1.0%減）となりました。なお、受注高は485億23百万円、受注残高は469億34百万円となりました。

## (ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、情報通信ネットワーク事業を核に主に民間企業や官公庁、自治体向けにインフラ設計や構築、その運用保守を行っております。特に基幹系のシステムにつきましてはパッケージソフトの提供から個別開発によるカスタマイズなど派生するサービスも提供しております。また、放送局やプロダクション向けに海外の仕入先製品を中心とした映像コンテンツの編集や送出、配信システムの構築も行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、PC及びソフトの更新需要が活発化した前期の反動減の影響があったものの、顧客向けサポートを深化させた結果、民間企業向けをはじめ販売が堅調に推移しました。

この結果、連結ソリューション事業の売上高は21億71百万円（前年同期比2.6%増）となりました。また、セグメント損益は販売構成の変化に伴う総利益率の低下などにより、40百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

なお、受注高は39億45百万円、受注残高は32億99百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて18億34百万円減少し、916億88百万円となりました。これは主に商品の増加29億46百万円、現金及び預金の増加22億17百万円、売上債権の減少53億69百万円、未収消費税等の減少13億77百万円等によるものです。

また、負債は、前連結会計年度末に比べて12億75百万円減少し、299億92百万円となりました。これは主に短期借入金の減少12億17百万円等によるものです。

純資産は、利益剰余金の減少1億77百万円、繰延ヘッジ損益の減少1億20百万円、為替換算調整勘定の減少1億80百万円等により5億58百万円減少し、616億96百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期及び第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成26年3月期決算短信（平成26年5月14日発表）に記載した予想数値から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が102百万円増加し、利益剰余金が65百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,758	23,976
受取手形及び売掛金	48,723	43,353
商品	13,435	16,382
半成工事	22	36
その他	3,492	1,948
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	87,419	85,683
固定資産		
有形固定資産	4,029	4,005
無形固定資産		
のれん	37	33
その他	145	149
無形固定資産合計	182	182
投資その他の資産		
その他	2,027	1,950
貸倒引当金	△136	△132
投資その他の資産合計	1,891	1,817
固定資産合計	6,103	6,005
資産合計	93,522	91,688
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,000	24,294
短期借入金	4,524	3,307
未払法人税等	520	125
引当金	650	301
その他	928	1,281
流動負債合計	30,623	29,310
固定負債		
退職給付に係る負債	398	499
その他	245	182
固定負債合計	643	681
負債合計	31,267	29,992
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	15,329	15,329
利益剰余金	33,400	33,222
自己株式	△763	△763
株主資本合計	62,778	62,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485	437
繰延ヘッジ損益	84	△36
為替換算調整勘定	△870	△1,050
退職給付に係る調整累計額	△223	△255
その他の包括利益累計額合計	△523	△904
純資産合計	62,255	61,696
負債純資産合計	93,522	91,688

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	36,124	40,665
売上原価	33,431	37,905
売上総利益	2,692	2,760
販売費及び一般管理費	2,331	2,405
営業利益	361	354
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	66	10
その他	19	12
営業外収益合計	89	26
営業外費用		
支払利息	6	5
売上割引	5	13
為替差損	94	31
電子記録債権売却損	7	25
その他	1	1
営業外費用合計	115	77
経常利益	335	304
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	338	304
法人税、住民税及び事業税	72	110
法人税等調整額	60	23
法人税等合計	133	134
少数株主損益調整前四半期純利益	205	169
四半期純利益	205	169

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205	169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92	△47
繰延ヘッジ損益	18	△120
為替換算調整勘定	481	△180
退職給付に係る調整額	—	△32
その他の包括利益合計	592	△380
四半期包括利益	797	△210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	797	△210
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	34,007	2,117	36,124
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	34,007	2,117	36,124
セグメント利益	266	69	335

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	デバイス事業	ソリューション事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	38,494	2,171	40,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	38,494	2,171	40,665
セグメント利益	263	40	304

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。